

7~8月の支出(図書、備品、慶弔、飲食は除く)

58,087円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	8,427円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	22,165円
会場費	600円
通信費(携帯電話代)	26,895円
支出計 06/7/10~06/9/3	58,087円
寄付 カマタさん、ヤマオカさん	6,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
06/9/4

第75号

11700部発行

たけまつ ただし

頒布責任者: **武松 忠**(市議会議員)
武松政策研究会

年10億円の伸び!?

小田原市国民健康保険特別会計! '05年度172.9億円に!

■急激に伸びる国保特別会計

市の一般会計総額が減少する中、国民健康保険特別会計は、図1に示す通り、**年10億円近くの高い伸び**を示しています。02年度は、市と国の会計月を合わせる都合で11ヶ月の会計となっているため伸びが緩やかになっています。

歳出合計では、98年の115.5億円が05年では172.9億円と1.5倍になっています。02年から伸びが高いのは、老人保健医療制度の改正により適用年齢が70歳から75歳に、5年間で段階的に引き上げられるため国保の対象者が増えた事が影響しています。またその逆に、老人保健医療特別会計の対象者が減るために拠出が年々減少しています。

図1の一般会計からの繰入金は、05年度は、

15.5億円で前年度と同額ですが、増加傾向にあり、市民1人当たり7800円、一世帯当たり2万円にもなります。他の健保等加入者の税金も国保へ流れているわけです。

■入院、入院外、調剤が高い伸び!

どの分野が伸びているかを図2の療養給付状況の推移から見てみます。療養給付は、保険+自己負担で医療費総額を示しています。98年と05年を比較しますと、入院1.23倍、入院外1.31倍、歯科1.19倍、調剤2.90倍と、特に調剤の伸びが顕著です。

その理由はハッキリしたことはわかりませんが、老人保健医療の改訂による高齢者の対象者増や院外処方増加が原因と考えられます。

図1: 保険給付費と歳出合計の推移

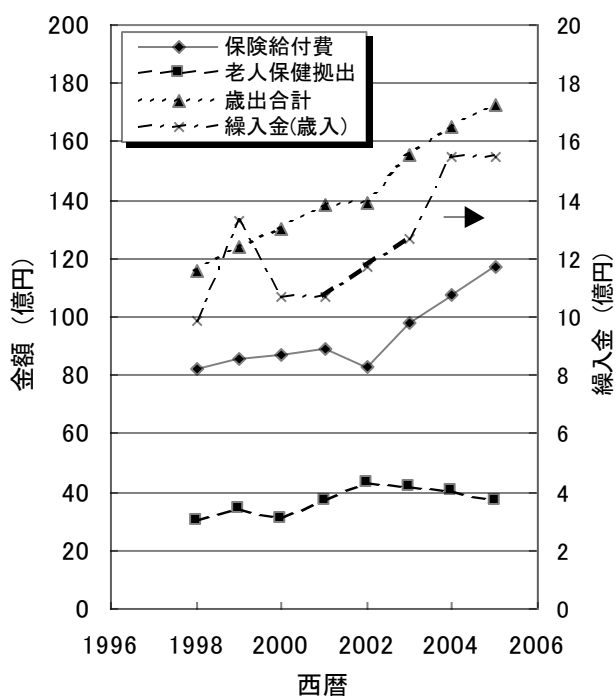
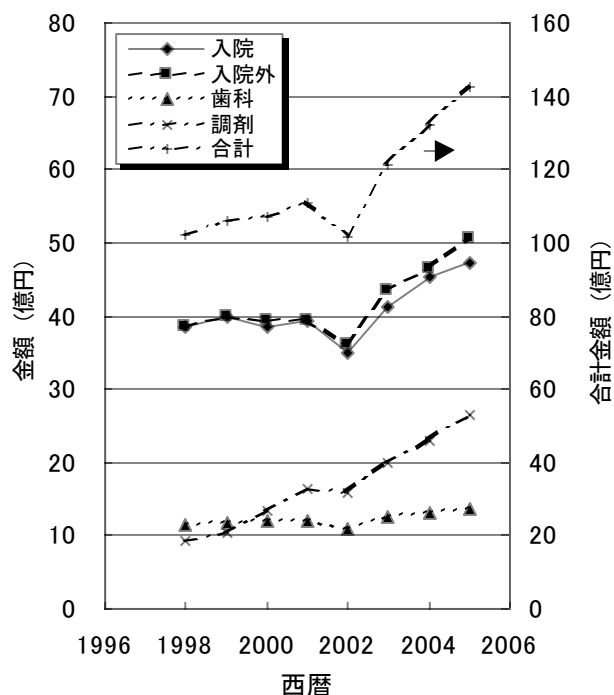


図2: 療養給付状況の推移(一般+退職)



The Voice 今までに頂いたご意見から

コンベンションに年間2億4千万円？採算は採れるのですか？

小八幡 男性

月刊武松、毎号読ませて頂いております。72号か、73号で貴議員はお城通り地区再開発事業のコンベンションホールに疑問を持っておられたと理解しましたが、74号では再開発事業に賛成なさったんですか？ 貴重な駅前の駐車場を潰して補助金までつけて民間事業者につくらせ、年間2億4千万円でコンベンションホールを借り受け、(仮称)城下町ホールと現市民会館の機能を担わせるとのことです。

現在の財政状況では、(仮称)城下町ホールは作らず、現在の市民会館で我慢すべきであると考えます。コンベンションホールの使用料が市民1人当たり月々100円の負担になるのです。そんなことと思われるでしょうが会社、企業、団体、個人が何十万、何百万円で使ってくれますか？ 月2千万円の借用料がペイできるとお考えですか？

まず、私のお城通り地区再開発事業に対する基本的な考え方を説明させていただきます。

私は、市が旧国鉄貨物ヤード跡地地区を取得した過去からの経緯を踏まえ、駅前の各種整備に合わせ、再開発事業の早期実現を図ることが、小田原が低迷から抜け出し、その高い潜在能力を存分に発揮できるものと考えています。ご指摘の「コンベンション」と「2億4千万円」が一人歩きしている点は、我々も反省しなければなりません。以下箇条的に説明します。

2億4千万円で市が借りる？ ホール等のコンベンション(3701㎡)と公共公益施設を想定したフレキシブルゾーン(1690㎡)の計5391㎡を全て市が借りたとなると、年間2億4200万円程度になるということ、これはあくまでも最大値です。この再開発事業は定期借地権方式で行うため地代が、市へ年間約3200万円、固定資産税が約5000万円の計8200万円の収入があるため、差し引き年間最大1億6000万円の支出になります。仮にコンベンションとフレキシブルゾーンの半分を市が借りたとなると、市の支出は、差し引き年間1億2千万円程度になります。私は、想定される公共公益施設に図書館や保育所などがいいと考えています。

市の支出が少なくなるよう事業者公募！? 再開発準備組合では、予算特別委員会の市の支出をなるべく少なくなるよう検討すべきとの委員長報告により、事業者の公募に際し、市の支出が少なくなるような提案を事業者に求めています。

市民会館の老朽化！? 現在の市民会館は、大ホールが1962年竣工、本館が1965年竣工と竣工後40年以上になっています。また、新耐震基準のできる1981年以前に耐震診断を行っただけで、耐震補強も行っていない。また(仮称)城下町ホールの駐車場用地とする必要があります。

(仮称)城下町ホールの用地問題！? (仮称)城下町ホール計画地は、裁判所の現地再建と、高度地区規制により、大ホール+サブホールしか建設できません。そのため現在の市民会館本館機能を、再開発事業が受け持つ必要性があります。

定期借地権&優良建築物等再開発事業手法で低リスク！ 定期借地権方式により、事業費を低く抑えます。都市計画決定に時間のかかる法定再開発ではなく、優良建築物等整備事業により早期の事業化を計ることにより長期金利が安いうちに事業化できます。

私は、必要な施設は低金利のうちに事業化することが、後年度負担を減らすものと考えています。

武松政策研究会 月例勉強会のお知らせ

9月の勉強会は

日 時：9/23(土) 18時～20時 場 所：市民学習フロア 学習室B

旧丸井4階 ドラックストア奥のエレベータで4階まで上がる。

テーマ：「ホール・再開発について」

参加費：100円 終了後、実費で懇親会を行います。

i モード用HPのQRコード →



<http://www6.airnet.ne.jp/takematu/>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 ダイナシティ支店出張所 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

月刊武松は**本人とボランティアが配布**しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、**eメールでも送付していますので連絡下さい。**